

平成30年度第13回ヨコハマeアンケート

生活環境の情報に関するアンケート

実施期間 平成31年1月11日（金）から1月25日（金）

事業所管課 環境創造局 環境管理課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	14 (0.5%)	44 (1.5%)	198 (6.8%)	396 (13.7%)	318 (11.0%)	340 (11.7%)	207 (7.1%)	2 (0.1%)	1,519 (52.4%)
女性	7 (0.2%)	90 (3.1%)	437 (15.1%)	444 (15.3%)	262 (9.0%)	105 (3.6%)	31 (1.1%)	0 (0.0%)	1,376 (47.4%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.2%)
計	21 (0.7%)	134 (4.6%)	635 (21.9%)	841 (29.0%)	583 (20.1%)	446 (15.4%)	238 (8.2%)	2 (0.1%)	2,900 (100.0%)

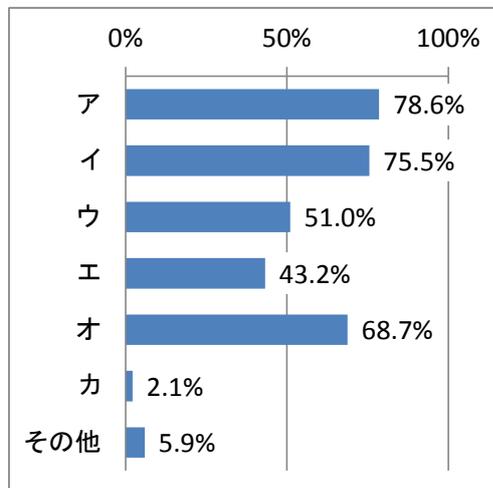
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	3 (21.4%)	16 (36.4%)	54 (27.3%)	184 (46.5%)	168 (52.8%)	230 (67.6%)	142 (68.6%)	1 (50.0%)	798 (52.5%)
女性	1 (14.3%)	16 (17.8%)	112 (25.6%)	148 (33.3%)	120 (45.8%)	56 (53.3%)	18 (58.1%)	0 (0.0%)	471 (34.2%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
計	4 (19.0%)	32 (23.9%)	166 (26.1%)	332 (39.5%)	289 (49.6%)	286 (64.1%)	160 (67.2%)	1 (50.0%)	1,270 (43.8%)

Q1 生活環境の中で関心がある項目は何ですか。（複数選択可）

n= 1,270

ア	大気環境(空気のよごれや臭い)	78.6%	998
イ	水環境(川や海のよごれ)	75.5%	959
ウ	音環境(騒音や振動)	51.0%	648
エ	地盤環境(土壌汚染や地盤沈下)	43.2%	549
オ	地球温暖化	68.7%	873
カ	特に気になることはない	2.1%	27
その他		5.9%	75



その他(抜粋)

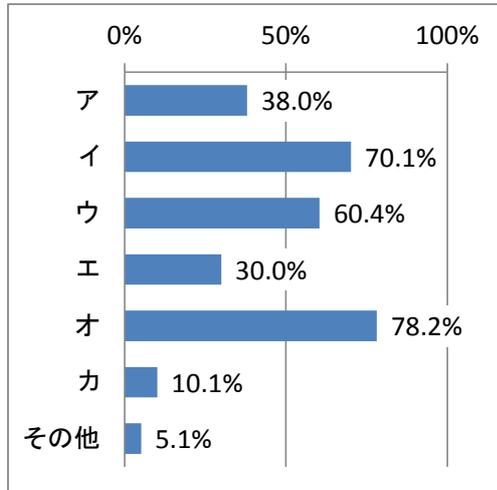
ゴミ問題

放射能

Q2 (Q1で「大気環境」と回答された方にお聞きします。)
大気環境で関心がある項目は何ですか。(複数選択可)

n= 998

ア	工場からの煙	38.0%	379
イ	自動車からの排ガス	70.1%	700
ウ	光化学スモッグ・光化学オキシダント	60.4%	603
エ	アスベスト	30.0%	299
オ	PM2.5	78.2%	780
カ	野焼き	10.1%	101
その他		5.1%	51



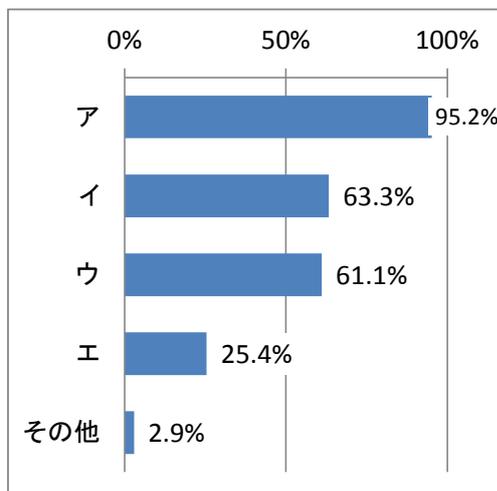
その他(抜粋)

工場から排出される臭い
中国の大気汚染

Q3 (Q1で「水環境」と回答された方にお聞きします。)
水環境で関心がある項目は何ですか。(複数選択可)

n= 959

ア	水質(川や海の汚れ)	95.2%	913
イ	生物(魚・カエルなど)の生息状況	63.3%	607
ウ	景観(赤潮・ごみなど)	61.1%	586
エ	地域とのつながり(歴史・文化・環境活動など)	25.4%	244
その他		2.9%	28



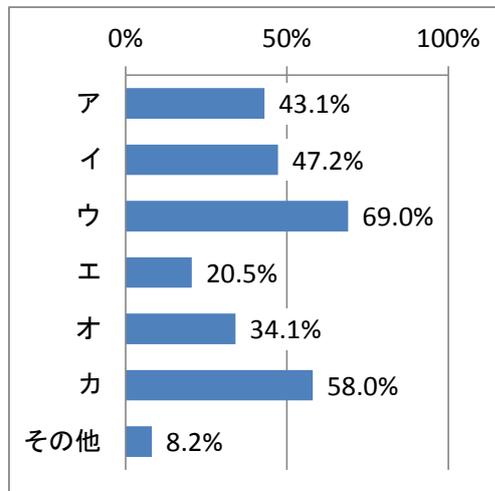
その他(抜粋)

マイクロプラスチック
海洋汚染
臭い

Q4 (Q1で「音環境」と回答された方にお聞きします。) 音環境で関心がある項目は何ですか。(複数選択可)

n= 648

ア	工場・商業施設・店舗等からの騒音(設備の音・飲食店のカラオケ音など)	43.1%	279
イ	工事に伴う騒音や振動	47.2%	306
ウ	自動車の通行に伴う騒音や振動	69.0%	447
エ	鉄道からの騒音や振動	20.5%	133
オ	航空機からの騒音	34.1%	221
カ	生活騒音(日常生活によって家の中やその周辺で発生する騒音)	58.0%	376
その他		8.2%	53



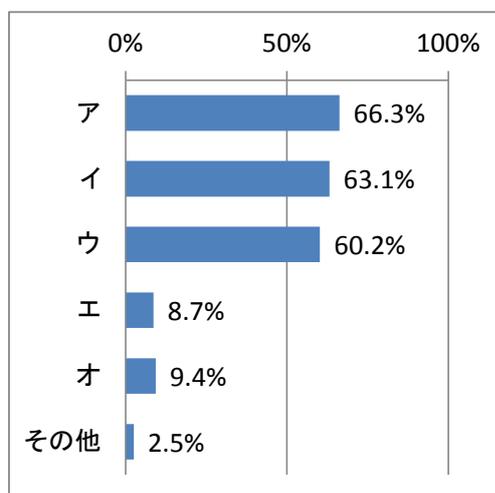
その他(抜粋)

バイクの通行に伴う騒音や振動
近所の騒音

Q5 生活環境に関する情報をどのように得ていますか。(複数選択可)

n= 1,270

ア	インターネット	66.3%	842
イ	新聞・リーフレット等の紙媒体	63.1%	802
ウ	テレビ・ラジオ番組	60.2%	765
エ	行政の窓口・行政への電話	8.7%	110
オ	セミナーや講演会・イベント	9.4%	119
その他		2.5%	32



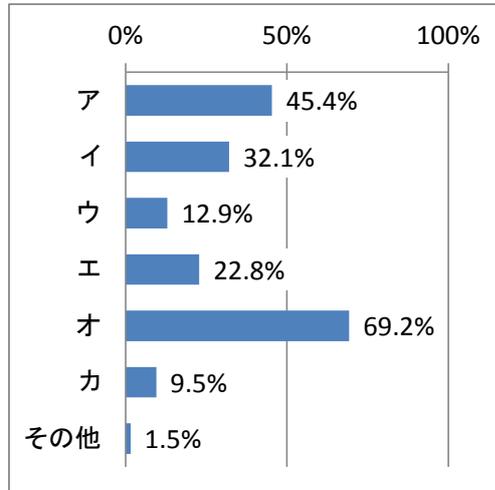
その他(抜粋)

光化学スモッグに関しては、防災メールに登録して情報を得ている。
実際に見に行く、見てみる。

Q6 (Q5で「インターネット」と回答された方にお聞きします。)
インターネットのうち、どちらから情報を得ていますか。(複数選択可)

n= 842

ア	横浜市のWebページ	45.4%	382
イ	神奈川県や国等の公的機関のWebページ	32.1%	270
ウ	企業・大学等のWebページ	12.9%	109
エ	Twitter等のSNS	22.8%	192
オ	ネットニュース・個人のブログ	69.2%	583
カ	スマートフォン等のアプリ(大気汚染状況がわかるアプリなど)	9.5%	80
その他		1.5%	13



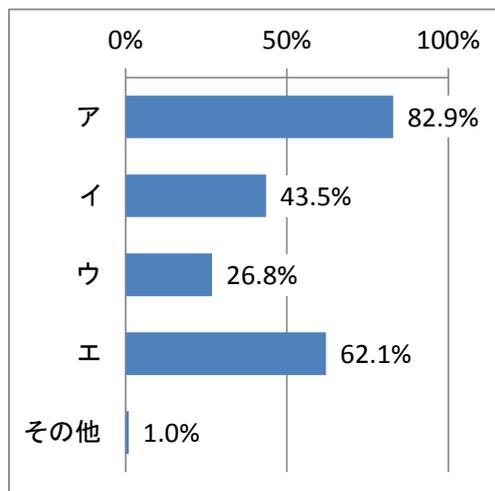
その他(抜粋)

NPOのホームページ

Q7 (Q5で「新聞、リーフレット等の紙媒体」と回答された方にお聞きします。)
紙媒体のうち、どちらから情報を得ていますか。(複数選択可)

n= 802

ア	新聞・雑誌・書籍	82.9%	665
イ	横浜市のリーフレット・パンフレット・チラシ	43.5%	349
ウ	神奈川県や国等のリーフレット・パンフレット・チラシ	26.8%	215
エ	広報よこはま	62.1%	498
その他		1.0%	8



その他(抜粋)

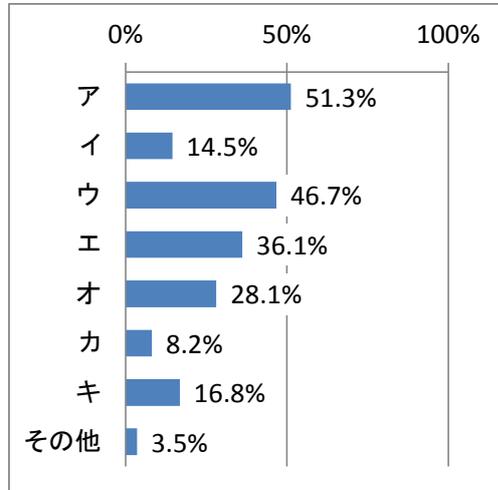
タウン誌

回覧板など

Q8 環境に関する情報の中で、あなたが日頃、確認しているものは次のうちどれですか。(複数選択可)

n= 1,270

ア	大気・水環境などの状況	51.3%	651
イ	環境関連セミナーやイベントなどの開催情報	14.5%	184
ウ	自分たちでできる環境に配慮した行動	46.7%	593
エ	国・神奈川県・横浜市等の環境行政に関する情報	36.1%	459
オ	国際的な環境問題に関する情報	28.1%	357
カ	助成金(次世代自動車購入等への補助など)に関する情報	8.2%	104
キ	地域とのつながり(歴史・文化・環境活動など)	16.8%	213
その他		3.5%	45



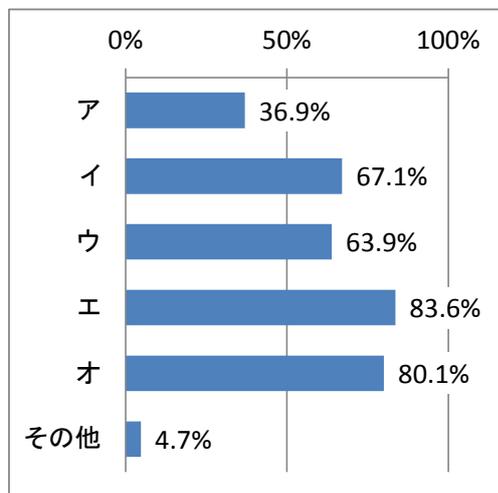
その他(抜粋)

自らは確認せず、目についた情報で確認
テレビの情報(PM2.5など)

Q9 あなたが日頃から行っている環境に配慮した行動は、次のうちどれですか。(複数選択可)

n= 1,270

ア	アイドリングストップなど、エコドライブを実践する	36.9%	469
イ	排水口に油を流さない	67.1%	852
ウ	近隣への悪臭や騒音などを出さないよう配慮する	63.9%	811
エ	電気・ガス・水のムダづかいに気をつける	83.6%	1,062
オ	食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らす	80.1%	1,017
その他		4.7%	60



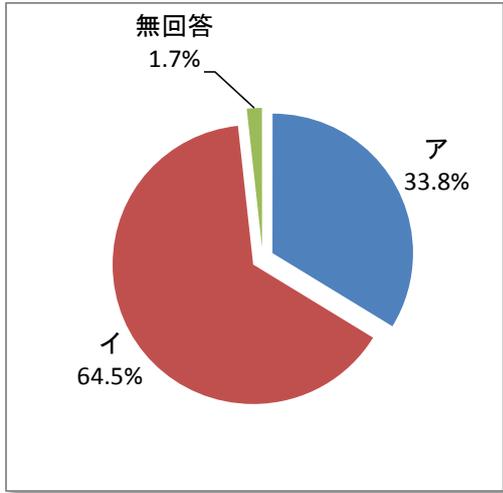
その他(抜粋)

ごみの分別
車利用から公共交通手段、徒歩、自転車利用への転換
早寝早起き、地産地消、無農薬の物を買う、なるべく歩くか自転車、エレベーターエスカレーターに乗らない、衣類はリサイクルショップで売買、エコバッグを使う

Q10 横浜市のWebページで、大気・水環境などの情報が得られることを知っていますか。(単一選択)

n= 1,270

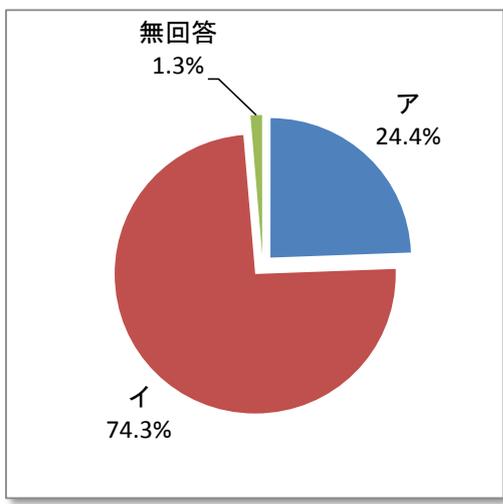
ア	知っていた	33.8%	429
イ	知らなかった	64.5%	819
無回答		1.7%	22
		100.0%	1,270



Q11 横浜市のWebページで、PM2.5や光化学オキシダントの情報がリアルタイムで表示されることを知っていますか。(単一選択)

n= 1,270

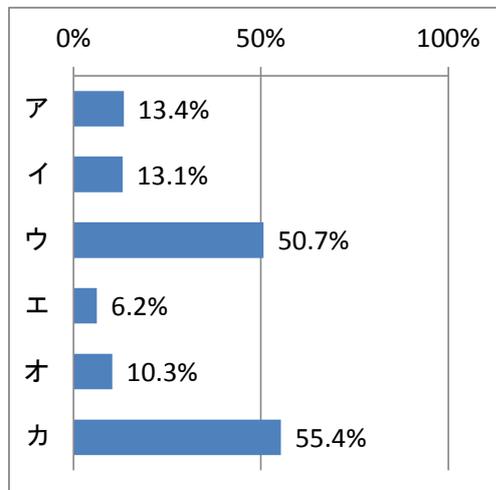
ア	知っていた	24.4%	310
イ	知らなかった	74.3%	943
無回答		1.3%	17
		100.0%	1,270



Q12 横浜市の環境改善に関する取組を、Webページや写真展「写真で見る横浜の環境いま・むかし」(※)で紹介していることを知っていますか。(複数選択可)
 【参考】「横浜の環境のいま・むかし」(※)とは空・海・川など、横浜が昔抱えた公害の様子や、今の環境を知ることができる写真展のことで、2018年度に市庁舎、鶴見区、中区、磯子区、金沢区役所で開催しました。

n= 1,270

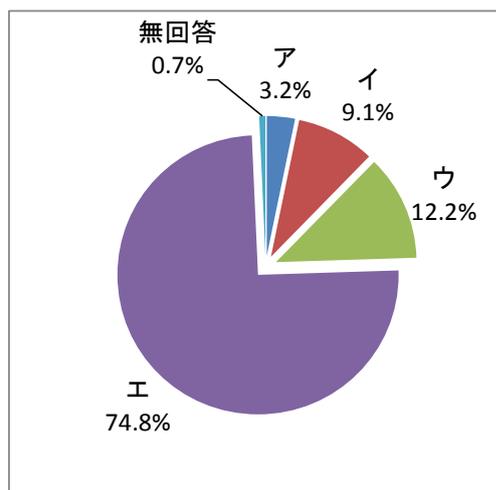
ア	Webページを見たことがある	13.4%	170
イ	Webページがあることは知っているが、見たことがない	13.1%	166
ウ	Webページがあることを知らなかった	50.7%	644
エ	写真展に行ったことがある	6.2%	79
オ	写真展が行われていることは知っているが、行ったことがない	10.3%	131
カ	写真展が行われていることを知らなかった	55.4%	703



Q13 「PRTR制度」(※)について知っていますか。(単一選択)
 【参考】「PRTR制度」(※)とは化学物質による環境への支障を防ぐために、事業所や家庭から大気環境中などへ排出される化学物質の量について、種類ごとに集計して公表する制度(「PRTR制度」)が設けられています。

n= 1,270

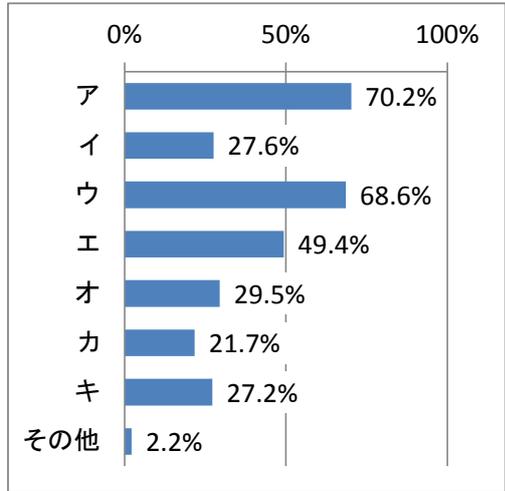
ア	制度を知っており、公表結果等も見たいことがある	3.2%	41
イ	制度を知っているが、公表結果等は見たいことがない	9.1%	115
ウ	言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない	12.2%	155
エ	知らなかった	74.8%	950
無回答		0.7%	9
		100.0%	1,270



Q14 生活環境についてどのような情報が必要だと思いますか。(複数選択可)

n= 1,270

ア	大気・水環境などの状況	70.2%	892
イ	環境関連セミナーやイベントなどの開催情報	27.6%	350
ウ	自分たちでできる環境に配慮した行動	68.6%	871
エ	国・神奈川県・横浜市等の環境行政に関する情報	49.4%	627
オ	国際的な環境問題に関する情報	29.5%	375
カ	助成金(次世代自動車購入等への補助など)に関する情報	21.7%	276
キ	地域とのつながり(歴史・文化・環境活動など)	27.2%	345
その他		2.2%	28



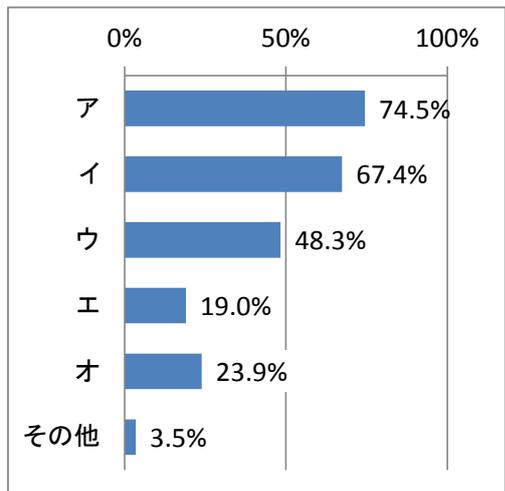
その他(抜粋)

環境の状況報告だけでなく、人体への影響はどんなものかを知りたい。
生活環境の情報を入手できる場所の情報

Q15 Q14で伺った情報についてお聞きします。生活環境に関する情報についてどのような媒体で発信してほしいと思いますか。(複数選択可)

n= 1,270

ア	インターネット	74.5%	946
イ	新聞・リーフレット等の紙媒体	67.4%	856
ウ	テレビ、ラジオ番組	48.3%	614
エ	行政の窓口	19.0%	241
オ	セミナーや講演会・イベント	23.9%	304
その他		3.5%	44



その他(抜粋)

TwitterなどSNS
広報よこはま
市のメルマガ

Q16 生活環境に関する情報発信について、ご意見があればご自由にお書き下さい。(自由意見)

(抜粋)

<p>これまで行政側(特に区役所)が積極的に発信していない。 窓口に行かないとわからない。広報も行事予定くらいしか読まない。 1人1人は僅かでも、みんなで実践すれば、効果は絶大です。 積極的な配信を期待します。</p>
<p>アプリなどを開発して市民が身近な環境変化を発信できるような仕組みがあったらいいと思います。 SDGs未来都市にふさわしく、積極的に発信を。 勉強会やセミナー、WSなどを開催して1人1人が自分ごととして考えられるようなきっかけ作りを期待します。</p>
<p>いつでも見れるインターネットでの情報配信が一番好ましいです。</p>
<p>インターネットには疎いのでアナログな情報発信も継続してほしい</p>
<p>テーマが広範囲なので、絞り込んだ情報発信が必要</p>
<p>もっと身近な場所で生活環境に関する情報発信をすべきだと思います。 例えば、町内会の回覧板や掲示板を活用したり、公園の掲示板を活用するのも手だと思います。 市民の身近な場所での情報発信をお願いいたします。</p>
<p>関心のある人は見ると思うのですが、なかなか多くの人に伝えるには難しい事だと思いますので、長く、定期的に続けて頂く事をお願いしたいです。</p>
<p>市民として、生活環境をもっと良くするために協力できることがあるのかどうか、あるのであれば教えて欲しい。</p>
<p>様々な場所で発信することが個人レベルでの環境に対する意識を増やすことにつながっていくのでは、と思いました。</p>
<p>老若男女に公平に情報が行き渡るように複数の媒体で発信して欲しい。</p>

Q17 日頃生活している中で、生活環境に関して気になっていること等があれば、ご自由にお書きください。(自由意見)

(抜粋)

<p>「生活環境」なので、自分の生活にあまり関係のないことには無関心になりがちです。ただその環境にある人にとっては深刻なことなので、想像力、洞察力、思いやりを持って接する必要があると思う。</p>
<p>HPだけでなく、紙などの媒体やイベントなどを通して改善できることは、情報発信してもらいたい。</p>
<p>この頃、PM2.5の数値が取り上げられるが、詳しいことがわからないので不安。</p>
<p>ゴミに群がるカラス。ゴミの日が苦痛です。</p>
<p>横浜市からの生活環境の情報を見るようにします。</p>
<p>近所の人とのコミュニケーションの不足を感じます。 地域活動の活性化に期待と参加をしなければと思っています。</p>
<p>身近で、できることを実践していきたいと思います。</p>
<p>水質汚染や地盤沈下といった身近な話題が気になっています。 自分が住んでいる地域はどうなっているのかという疑問と情報収集から、様々な地域へと視野を広めるきっかけになるのではないのでしょうか？</p>
<p>地球温暖化の影響が大きいとされる気象異常、川の水の汚れによる生態系への影響。</p>
<p>普段から生活環境に注意して地域活動をしていきたい。</p>



ヨコハマeアンケート

平成 30 年度 第 13 回アンケートの「その後」

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどう活用しているのかなど、アンケートの「その後」をご紹介します。



生活環境の情報に関するアンケート (平成 31 年 1 月 実施) 担当 環境創造局 環境管理課

アンケートの回答を事業に反映した事例、又は反映する予定

今後、より多くの皆様に生活環境への理解を深めていただくとともに、環境行動へつなげていただけるように、アンケートの結果を元に、皆様が身近にできる取組のご紹介等を SNS やリーフレットなど様々な媒体を活用し広報を行っていきます。

アンケートを実施しての感想

生活環境について、皆様が日頃気になっていることや、身近な環境に関する情報を得る手段について、今後の参考となる貴重な情報をたくさんいただくことができました。SNS 等インターネットのほか紙媒体の活用など、ニーズに合わせたわかりやすい情報発信の参考とさせていただきます。

担当部署から登録メンバー様へのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
生活環境の情報に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。今後も、市民の皆様
の安全・安心で快適な生活環境の保全を実現するため、引き続き努めていきます。

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。